

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成29年9月22日

計画の名称	1 藤岡市街地地区都市再生整備計画			交付対象	群馬県、藤岡市					
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）									
計画の目標	安心・安全・快適なまち藤岡の形成 ①歩行者や自転車に配慮したまちづくりの推進 ②災害に強いまちづくりの推進									
計画の成果目標（定量的指標）	・都市計画道路の整備率を52.3%（H24）から63.1%（H28）へ増加 ・公共施設の耐震化率を60.7%（H24）から100%（H27）へ増加 ・排水施設の整備エリアを20.3ha（H24）から109.8ha（H28）へ増加 ・北藤岡駅前での年間放置自転車撤去台数を、20台（H24）から7台以下（H28）に減少									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H24当初） 中間目標値 最終目標値（H28末） 52.3% 60.7% 100.0% 20.3ha 109.8ha 20台 7台以下			備考			
全体事業費	合計（A+B+C）	1,139 百万円	A	1,027 百万円	B	0 百万円	C	112 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	9.8%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
都市計画審議会	平成30年2月21日（水） 公表の方法 藤岡市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1			藤岡市	直接	藤岡市	藤岡市街地地区都市再生整備計画	街路・道路等999ha	藤岡市						1,027.0	
合計													1,027.0		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
														0.0	
合計													0.0		
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1			藤岡市	直接	藤岡市	中心市街地雨水排水事業	排水路 L=356.2m 64.23ha(全流域面積81.73ha)	藤岡市						59.0	全流域面積中17.5haは整備済み
1-C-2			藤岡市	直接	藤岡市	藤岡公民館エレベーター等設置事業	エレベーター1基・トイレ段差解消・LED照明	藤岡市						53.0	
合計													112.0		
番号 一体的に実施することにより期待される効果											備考				
1-C-1	藤岡市街地地区都市再生整備計画区域内外にある雨水排水路を設置することで、降雨災害に強いまちづくりの推進に寄与することが期待される。														
1-C-2	藤岡市街地地区都市再生整備計画区域内にある藤岡公民館にエレベーターを設置し併せてトイレの段差解消とLED照明を設置することで、歩行者に配慮したまちづくりの推進に寄与することが期待される。														

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・都市計画道路藤岡インター北口線や北部環状線の整備が進行したことにより、整備率向上に貢献した。整備が進むことで、地区内市街地への通過交通が減少し、歩行者、自転車の安全性の向上が期待される。 ・市内の主要施設で耐震改修が進み、公共施設の耐震化率は大きく改善しており、効果が確認できる。 ・北部環状線交差点改良事業工事より、中心市街地雨水排水対策事業でバイパス管を設置し、地域一帯の排水対策を実施する方がより効果を得られると判断し、事業の切り替えを行ったことにより、排水区域面積は大きく拡大し、排水の状況が改善した。 ・北藤岡駅前における駐輪場整備により、放置自転車台数は大きく減少し、平成27年度には0台と、目標を達成した年もあり、安全な歩行者自転車空間の確保においてある程度の改善効果があった。									
II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	63.1%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	63.9%								
	指標②	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値	100.0%								
	指標③	最終目標値	109.8ha	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成には至らなかったが、当初設定した目標値に2重計上の誤りがあり、精査した結果、正しくは84.5haあり、市街地で解決すべき課題は達成している。都市下水路に放流するバイパス管の設置により、7丁目に集中する排水が分散されたことで、排水の状況が改善した。						
		最終実績値	84.5ha								
	指標④	最終目標値	7台以下	目標値と実績値に差が出た要因	目標達成には至らなかったが、北藤岡駅前における駐輪場整備により、放置自転車台数は大きく減少し、平成27年度には0台と目標を達成した年もある。						
		最終実績値	15台								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		藤岡公民館エレベーター設置及び外壁補修事業の実施により、2階以上の部屋の利用者数が増加し、高齢者や身体障害者にも対応した避難場所の確保への貢献が示された。（平成24年度：42,929人⇒平成28年度：50,819人）									
3. 特記事項（今後の方針等）											
安全な道路利用環境の確保、避難場所の確保や浸水対策の強化により、引き続き、安心・安全・快適なまちの形成を目指す。											

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 藤岡市街地地区都市再生整備計画	交付対象	群馬県、藤岡市
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)		

